



令和元年

緑の学び舎

ニュースレター



特集

学び・遊び・つながりを育む緑の校庭のこれから
～芝生を通した学校での取組～

- 技術支援事業
- 東京都補助金制度
- 校庭芝生の親方・匠
- あっぱれ！親方・匠

大田区立多摩川小学校

児童数：570名（令和元年5月1日現在）
芝生化面積：2,200m²
芝生化年度：平成25年度

子供・学校・地域・専門家の連携
で安定した維持管理を

大田区立多摩川小学校
高光 佳子 副校長



校庭芝生化のスタート

本校は体育環境改善への要請や多摩川からの風じん対策もあり、芝生化に踏み切りました。全面芝生化の実現には、養生期間中に河川敷を第2校庭として使えることで運動量の確保ができたことも背景となっています。

芝生化されて7年目になりますが、導入初期は管理技術の未熟さや人手不足などによる様々な課題を抱えていました。



学校での取組

経験豊富な技術支援事業者による指導、グリーンサポート委員会の立ち上げ、たまパパ（親父の会）を中心とした芝刈りなど、関係各位の連携を回りながら工夫を重ね、現在は良好な芝の状態を維持できています。裸足デーをはじめ、上映会、子ども祭り、野点など、校庭を使ったイベントも活発です。

また現在、「芝生は使いながら育てよう」というアドバイスの下、芝の茂った部分は積極的に使い、裸地を補修するようにしています。

「グリーン大作戦」と呼ばれる補修作業では、子供たちが自ら育てたポット苗を自分たちで補植することによって、痛んだ芝生も再生できることを知り、生き物や自然に愛着を持つよい機会になっています。



芝生の役割とこれからの展望

この学校で学び、遊んだ経験が子供たちにとって宝になるよう、これからもより幅広い活用方法を考え楽しんでもらいたいと思っています。

また、緑の校庭が地域の人々にとっても憩いの場となるように願っています。そのためにも芝生に関わる全員が当事者としての気持ちを大切にしながら、協力していきたくと考えています。



杉並区立杉並和泉学園

児童・生徒数：966名（令和元年5月1日現在）
芝生化面積：2,784m²
芝生化年度：平成27年度

芝生を通した交流で児童・生徒の成長
や教育機会の多様化を目指す

杉並区立杉並和泉学園
田中 稔 学園長



校庭芝生化のスタート

我が校は、平成27年度に二つの小学校と一つの中学校を統合し、杉並区初の施設一体型小中一貫教育校として開校しました。

中学校の部活動などにも活用できるよう、芝生と土が半分ずつのグラウンドに設計しました。既に芝生化されていた旧和泉小学校の芝生管理団体（GP）の協力を引き継いだこともあり、新校庭の芝生化はスムーズに進めることができました。



学校での取組

芝生管理サポート団体（芝生サポーター）の力を借りて、芝刈り研修会を実施し、管理知識を共有しています。また冬期には芝を霜から守るために芝の上にシートを敷き、その上で遊んでもらうよう配慮しています。子供たちの体力作りのためのアクティビティ「ランランくるくるタイム」や、縦割り班交流給食、地域が主催する夏祭りや校庭キャンプの開催など、多様な行事やイベントに活用しています。

芝生は運動や遊び以外にも作業学習、環境教育の場にもなっています。転倒や土の汚れを意識しなくなると、遊びの自由度が高まり、子供同士の距離も近くなっているように感じます。



子供と地域の輪を生む芝生のこれから

お父さんが卒業してもサポーターとして芝生の管理に携わってくださる親御さんも多くいます。保護者のみならず地域の大人が、主体的に芝生や子供たちを支えていく体制があるのは頼もしいことです。

ここで遊んだ児童・生徒が大人になり、また芝生を守りに帰ってくるような循環が生まれてくれば、これほど嬉しいことはないと思います。



技術支援事業

芝生のお悩み
解決します！

東京都教育委員会では、校庭芝生化に取り組み学校や教育委員会に技術的なサポートを行っています。「維持管理の仕方が分からない」「最近芝生に元気がない」などお困りのことがありましたらお気軽にご連絡ください。



相談受付

計画段階のお悩みから芝生化後の維持管理まで、校庭芝生についての相談をお電話で受け付けます。



専門家の派遣

芝生の専門家を学校に派遣し、各校の状況に応じた助言等を行います。



実地講習会の実施

学校やボランティアの方向けに、芝生の維持管理に関する講習会を開催します。



栗芝さんに聞いてみよう！

株式会社 栗芝
いちごやぶ しのぶ
一條 良賢 さん



芝生に関する相談・悩み事、
何でも受け付けています。

お問い合わせ

TEL. 03-5903-5333

支援制度について

私どもはこれまでに多くの学校を訪問し、それぞれの学校における芝生化や芝生の維持管理に携わってきました。学校や教育委員会での芝生に関する様々なお悩みに、専門家としてアドバイスさせていただきます。お気軽にご相談ください。

よくあるお問合せ

一番多いのは、芝生の育ちがあまり良くないとか、擦り切れてしまったのでどうしたら良いかといった相談です。これは、実際に芝生を見てみないと詳しいことが分からない場合が多いので、専門家を派遣し、その学校の環境や芝生の状態を見極めた上で、最も効果的な対処法をアドバイスします。



注意してほしい状況

夏芝と冬芝を併用している学校で、冬芝が枯れてしまう8月頃に「芝生がなくなってしまった」というご相談をいただくことがよくあります。5・6月頃には冬芝が好調で、逆に夏芝の芽が出にくい状況になっていることで、このようなことが起こります。一見して芝生の状態が良く見えるときこそ、専門家の派遣を積極的に依頼してください。

今後の取組について

効率的な維持管理の方法や、できるだけ多くの人が関わり一人の負担が小さくなるような組織作りなど、これまでの経験から得られたノウハウを皆さんと共有して、緑の芝生に覆われた校庭が増えていくことを願っています。

東京都補助金制度

東京都は、芝生化、屋上緑化及び壁面緑化に必要な費用を補助します。

校庭芝生化事業

対象経費の1/2を補助します。なお、芝生の維持管理を地域協働で行う場合は、補助対象経費の全額を補助します。

公立小学校・中学校
義務教育学校・特別支援学校

250㎡以上の
芝生化が補助対象

※一定の要件を満たせば100㎡以上も対象（校庭面積が小さい、芝の生育が悪い場合など）

公立幼稚園

50㎡以上の芝生化が補助対象
駐車スペース4台分程度です。

面積の拡張

最初の事業補助の翌年度から
3年以内

屋上緑化・壁面緑化補助

屋上緑化・壁面緑化の実施について
必要な経費を補助します。

屋上緑化

補助対象経費の全額を補助します。
(上限は1㎡当たり53,000円)

壁面緑化

補助対象経費の全額を補助します。
(上限は1㎡当たり28,000円)

芝生化維持管理経費補助

専門的維持管理作業を実施する場合に、
対象経費の1/2を補助します。

認証式と校庭芝生リーダー養成講座を開催しました。

平成30年度 校庭芝生の親方・匠

校庭芝生の
親方・匠とは？

東京都教育委員会は、校庭芝生の維持管理に継続的に取り組み、多大な貢献をされた方で、体制の構築や取りまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として認証しています。

平成30年度で7回目となる認証式では、各校の教員や維持管理団体のリーダーを中心に、「親方」が2名、「匠」が5名認証されました。維持管理活動に携わる頼もしい先輩たちとして、ますますの活躍を期待しています。

認証式に引き続き、「平成30年度第3回校庭芝生リーダー養成講座」を開催しました。「親方・匠」の方々に、芝生の維持管理組織への新しい仲間を迎え方について事例発表をしていただきました。参加された方々にとっては貴重な情報交換の場となり、今後の維持管理に携わる上でのスキルアップにつながる講座となりました。



認証者の
皆さん

親方

大久保 肇

日野市立第一日野小学校
日野支庁一丸一委員

倉光 佳子

大田区立多摩川小学校
副校長

匠

原 貞夫

津原市立津原第八小学校
校長

柏葉 昭人

町田市立小山田小学校
教諭

井野口 晴久

国立市立国立第二小学校
芝生ボランティア

関 洋一

海老市立海老南中学校
海老芝生サポートチーム
主任教諭

鈴木 智恵

葛ヶ崎町立葛ヶ崎中学校
主任教諭

※写真及び役職は、認証当時のものです。

緑の学び舎づくり事業について
詳しい内容を知りたい方は…

東京都教育庁地域教育支援課基盤教育課
校庭芝生化推進担当

TEL. 03-5388-3567

